

# 区長コラム

## 個人・地域の自助、互助、共助による 地域防災へ



大正区長  
よしだ やすと  
吉田 康人

「こんにちは大正」7月号で株式会社コメックとの「災害時における食料品等の供給協力に関する協定」、今月号では医師・歯科医師・薬剤師会との「医療救護等についての協定」の締結をご報告しました。引き続き、防災・減災関連の支援を民間企業・事業体から得られるよう協定締結を進めます。

阪神・淡路大震災(平成7年)で生き埋めや閉じ込められた人々の救助のうち97.5%が自力や家族、友人・隣人などにより行われ、公的な救助隊などは2.5%にしか過ぎませんでした。全国の自治体で今、この教訓を踏まえ、防災・減災対策における「公助」から「自助、互助、共助」へのシフトをベースにした個人・地域の防災力向上が図られています。

区役所としては、小学校区単位のまちづくり実行委員会などを窓口我区民のみなさんと協働で、地域防災の仕組みを向こう3~4年かけてつくりあげる計画です。「おたがいさま」の精神を中心に、みんなが互いにみまもりあい、はなしあい、そして、ささえあう仕組み。不可欠なのは日常的な備え、訓練、そして、「自分達のまちは自分達で守る」との個人・地域の自立へ向けた意識改革です。みんなで一緒にがんばっていきましょう。

